

平成 28 年度国際水道フォーラムの開催報告

報告者：Japan-YWP 副代表 関 隆宏

1. 開催概要：

- 日時 平成 28 年 11 月 10 日（木）14:00～17:30
- 会場 京都市国際交流会館
- 基調講演 Keynote Speech
 - “Towards sustainable water supply business “
Shozo Kishi (Ministry of Health, Labour and Welfare)
- 各国の取組事例 Case Study
 1. “Challenges for Human Resource Development: Towards Sustainable Water Supply”
Chayodom Kanchanomai (Thai Waterworks Association)
 2. “WOPs in Indonesia”
Dwike Riantara (PERMAMSI (Indonesia Water Supply Association))
 3. “Challenge for Human Resource Development – Toward Sustainable Water Supply”
Yang-Long Wu (Chinese Taiwan Water Works Association)
 4. “Human Resource Challenges”
Colin Chung (American Water Works Association)
 5. “YWP and Capacity Development”
Yasuhiro Asada (IWA Japan-YWP)
- パネルセッション Panel Session
 - IWA Japan-YWP、京都市、出席している全ての海外協会
話題提供
 - “Human Resource Development by Kyoto City Waterworks Bureau”
Noriko Itagaki (Kyoto City Waterworks Bureau)
- 共催 日本水道協会、厚生労働省、IWA Japan-YWP

2. 報告内容：

今年で JWWA との国際水道フォーラムの協働は 3 回目となります。平成 28 年度の国際水道フォーラムのテーマは、「持続可能な水道事業に向けて－各国における人材育成の取り組み－」でした。本テーマに基づき、Japan-YWP から浅田安廣が「YWP and Capacity Development」というタイトルで、Japan-YWP の各行事の内容と目的について説明しました。

基調講演では、厚生労働省水道課の岸様より日本の水道の現状、ビジョン、今後の課題等について講演いただきました。その後、各国の人材育成に向けての取り組み事例の紹介いただいています。インドネシア水道協会が紹介した WOPs という事業体間の相互連携の取り組みは非常に興味深く、日本が学ぶ部分もあるのではないかと感じました。また、アメリカでは、日本と同じように技術者不足が問題となっており、Knowledge

Management（人由来のノウハウをデータベース化すること）の重要性を説かれていたのはとても印象的でした。

その後のパネルセッションにおいては、京都市上下水道局の板垣様より京都市の人材育成の取り組み事例について話題提供をいただきました。各国間での意見交換も行われながら、約 100 名の聴講者も交え終始盛況に終えることができました。ご参加いただいた皆様にお礼申し上げます。

